

公益財団法人いわてリハビリテーションセンター地域連携だより

なまなまのしずく

～人と地域と未来をつなぐ～

人生100年時代のリハビリテーション



公益財団法人

いわてリハビリテーションセンター

Iwate rehabilitation center

創刊号

2024.8

いわて



2023年度

数字で
見る!



当センターが開設して

30周年



1993年にリハビリテーションの専門病院として開設した当センター。2023年10月をもって30周年を迎えることが出来ました。昨年はコロナウイルス感染の状況を注視しており、記念イベント等は控えていましたが、今年度は記念講演会や祝賀会、職員提案(グッド・アワード)など様々なイベントを企画しております。

ANNIVERSARY

患者紹介から 入院受入決定 までの日数

1.0日

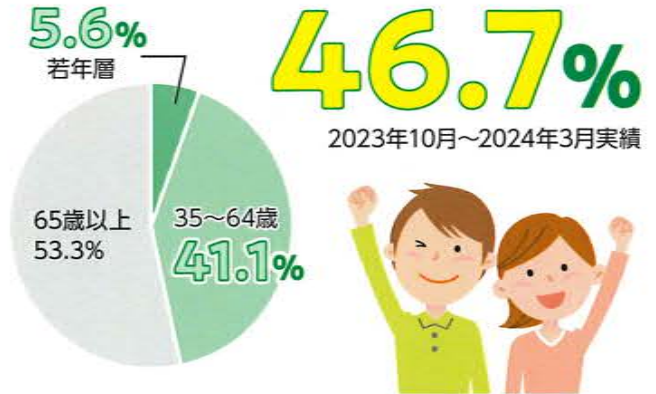
患者紹介から 入院までの日数

10.6日

当センターでは急性期病院からの患者紹介に対して、出来るだけ早く受け入れの返事をして、その後も出来るだけ早く入院受け入れが出来るよう院内及び院外連携を図っています。



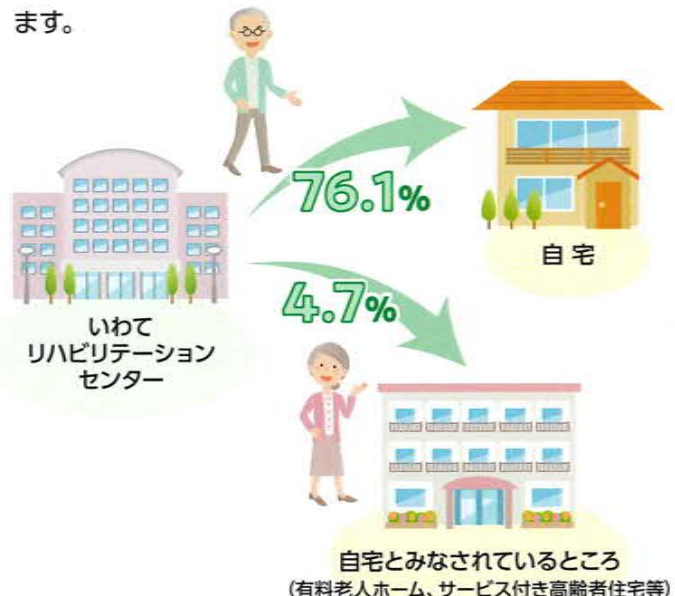
入院患者のうち 現役世代の割合



当センターでは、復学・復職や運転再開支援が必要とされるであろう若年層(15歳未満も含む)から現役世代(一般的に15歳から64歳までを指す)の方の受入れも積極的に行っています。

在宅復帰率 80.8%

在宅復帰率とは、病院から自宅や有料老人ホーム等に退院された方の割合を示すデータです。当センターでは施設基準(70%)を大きく上回る割合を達成しています。



重症患者改善率（回復率）

71.1%

入院中に重症の患者さんに対して集中的にリハビリを行ったことで、退院時に症状が改善された方の割合を示すデータです。当センターでは施設基準（30%）の倍以上となる割合を達成しています。



復職支援を行った人数



67人

当センターは働き盛り世代の患者さんが多く、「復職」が大きなニーズとなります。退院後すぐに復職につながるケースもあります。しかし多くは退院後も外来でリハビリテーションを継続し、復職を目指していくこととなります。最終的なゴール達成のため当センターだけでなく、会社、障害者職業センター、就労移行支援事業所、訪問リハビリ事業所などの多機関・多職種が復職支援そして両立支援で関わっていきます。

サービスが不要で
社会復帰を
果たした人数

164人

患者さんの中には退院後、そのまま社会復帰につながるケースもあります。障害や不自由が残ったとしても介護保険等の福祉サービス利用で社会参加している方もいます。社会参加は何らかの形で地域とつながっているという自己肯定感につながります。

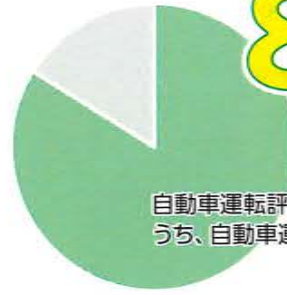


サービス利用で
社会参加に
つながった人数

160人

自動車運転が再開可能になった人の割合

84.1%



2023年度
自動車運転評価の対応人数（入院・外来） 227人
うち、自動車運転が再開可能になった人数 191人

脳の損傷による注意障害等により自動車運転が難しくなってしまう場合があります。当センターでは、自動車運転再開に向けての評価診断を実施しています。評価診断の結果をもとに主治医が診断書（岩手県公安委員会指定）を記載、最終的な自動車運転可否の判断は、岩手県公安委員会が行います。

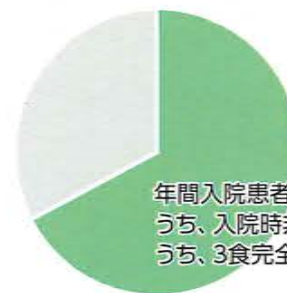
《評価診断内容》

- ①診察
- ②神経心理学的検査
- ③自動車運転シミュレーター
- ④状況に応じて実車評価（教習所と連携）
- ⑤観察など総合的な評価



3食経口摂取に移行した患者さんの割合

67.3%



2023年度
年間入院患者数 394人
うち、入院時非経口摂取だった患者数 49人
うち、3食完全に経口摂取へ移行した患者数 33人

3食経口摂取移行とは、食事を口から摂取できない状態から3食摂取できる状態に嚥下機能が回復することです。年間入院患者全体のうち約12%の方が口から摂取できない状態で入院してきます。当センターでは、早期に嚥下評価、摂食嚥下訓練を多職種アプローチして摂食嚥下リハビリテーションに取り組んでいます。



センター長
ご挨拶



当センターは、昨年10月に開設から30年を迎えることができました。

これからも本県の中核リハビリテーション施設として、患者さんの更なる機能回復と社会復帰をすすめるよう、住み慣れた地域で安心安全に暮らすことができるよう、職員一同つとめて参ります。

これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、今後も皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

センター長 佐藤 義朝



いわてリハビリテーションセンター 理念

私たちは、高度で先進的なリハビリテーション医療を追求し、患者さんとともに障がいの克服という「治癒」を目指すことにより、地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献します。

【 診療実績・施設基準実績 令和5年10月～令和6年3月 】

■患者数

新規入院患者数	191人
退院患者数	188人
外来患者数(延べ)	1,452人

■新規入院患者数 疾患別入院・平均在院日数

疾患名	疾患別人数	平均在院日数
脳血管疾患	160人	86.0日
運動器疾患	25人	57.0日
廃用症候群	6人	63.0日
その他の疾患	6人	54.0日

■新規入院患者内訳

	男	女	合計
人数	122人	75人	197人
34歳未満	4.9%	6.7%	5.6%
35歳～64歳	48.3%	29.3%	41.1%
65歳～74歳	23.0%	32.0%	26.4%
75歳以上	23.8%	32.0%	26.9%

在宅
復帰率

86.2%

重症患者
割合

49.7%

リハビリ
テーション
実績指数

51.32

編集後記

30周年を機会に地域連携広報誌を発刊することになりました。今までお知らせ出来ていなかった診療実績やアウトカムなどをわかりやすく発信していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

医療連携部副部長 上田 大介

公益財団法人

いわてリハビリテーションセンター

〒020-0503

岩手県岩手郡栗石町

七ツ森16番地243

TEL 019-692-5800

FAX 019-692-5807



発行／公益財団法人

いわてリハビリテーションセンター

2024年8月 創刊号

印刷／杜陵高速印刷株式会社